

【今週の注目疾患】

梅毒

千葉県の2017年1～12週の梅毒の届出数は28例となった。過去5年の同時期と比較し届出数が多く、前年同時期(2016年1～12週)の届出数21例より多い(図1)。そこで、2012年～2017年12週に届出された415例についてまとめた。

図1 2012年～2017年12週の千葉県の梅毒累積届出数 415例

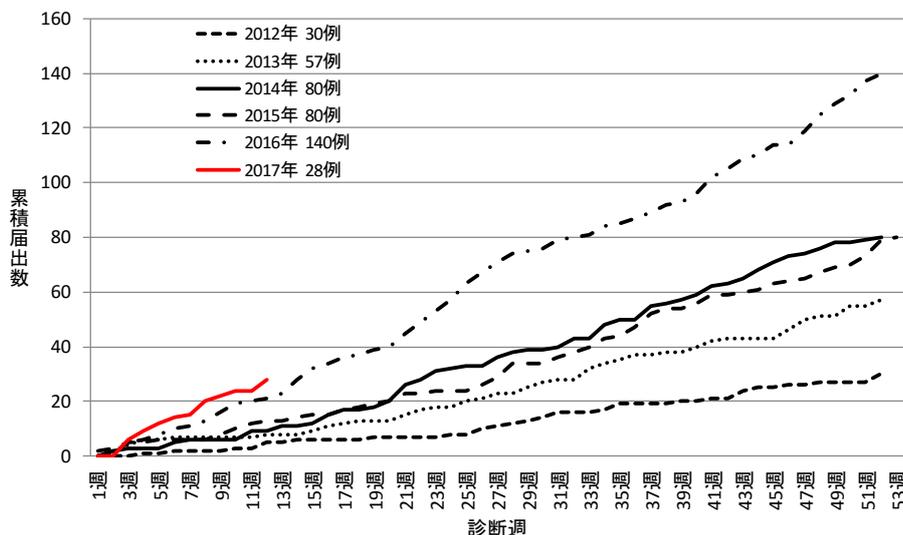


図2 2012年～2017年12週千葉県の梅毒 年別・性別届出数 415例

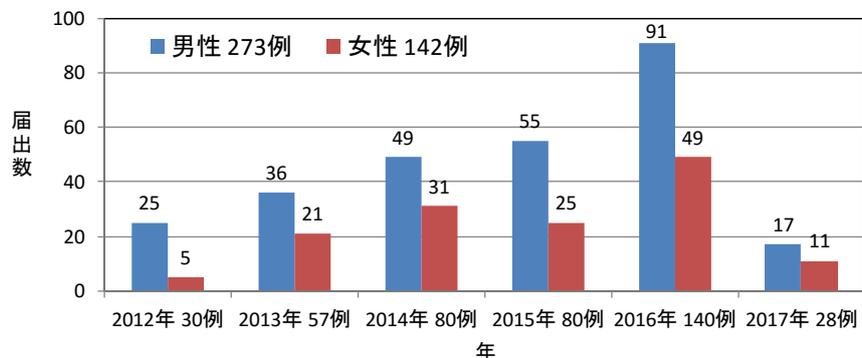


表 2012年～2017年12週千葉県の梅毒 病型別症状等報告数

病型	先天梅毒		早期顕症梅毒 (Ⅰ、Ⅱ期)		早期顕症梅毒 (Ⅰ、Ⅱ期)		晩期顕症梅毒		無症候(無症状病原体保有者)	
	届出数		届出数		届出数		届出数		届出数	
	8		101		142		30		134	
初期硬結	0	0.0%	44	43.6%	9	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
硬性下疳	1	12.5%	54	53.5%	23	16.2%	0	0.0%	0	0.0%
鼠径部リンパ節腫脹(無痛性)	1	12.5%	48	47.5%	23	16.2%	1	3.3%	0	0.0%
梅毒性バラ疹	0	0.0%	1	1.0%	91	64.1%	1	3.3%	0	0.0%
丘疹性梅毒疹	1	12.5%	1	1.0%	32	22.5%	0	0.0%	0	0.0%
扁平コンジローマ	0	0.0%	3	3.0%	23	16.2%	1	3.3%	0	0.0%
症 ゴム腫	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.3%	0	0.0%
状 心血管症状	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
等 神経症状	2	25.0%	2	2.0%	1	0.7%	21	70.0%	0	0.0%
眼症状	0	0.0%	0	0.0%	3	2.1%	8	26.7%	0	0.0%
骨軟骨炎	2	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
実質性角膜炎	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
感音性難聴	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	6.7%	0	0.0%
HUTCHINSON齒	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
なし	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	134	100.0%

図3 2012年～2017年12週千葉県の梅毒
男性の年別病型別届出数 273例

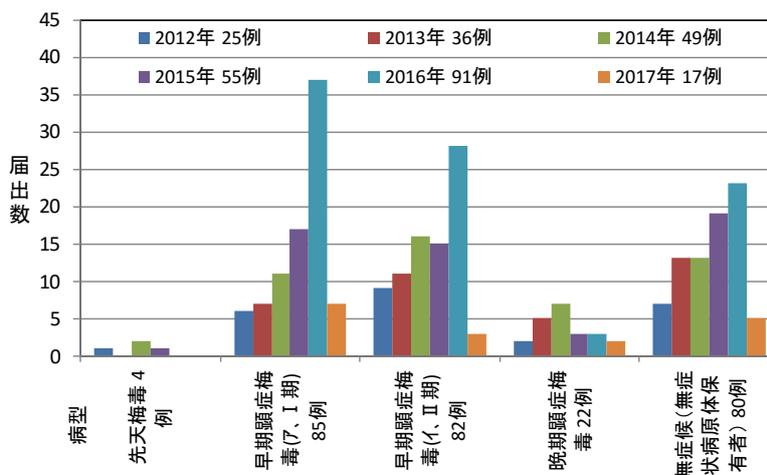
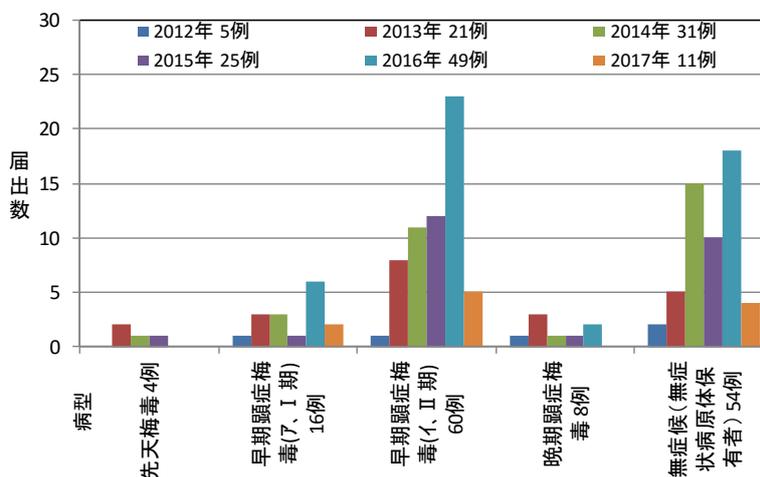


図4 2012年～2017年12週千葉県の梅毒
女性の年別病型別届出数 142例



保健所別では、千葉市91例、松戸57例、市川49例、柏市40例、船橋市36例、印旛31例、習志野29例、安房18例、市原16例、君津14例、海匝12例、野田7例、山武6例、香取5例、夷隅3例、長生1例であった。

性別では、男性273例(65.8%)、女性142例(34.2%)であった(図2)。

年齢群別では、男性は40代が62例(22.7%)、20代61例(22.3%)、30代48例(17.6%)、50代45例(16.5%)で多く、女性は20代59例(41.5%)、10代22例(15.5%)、30代21例(14.8%)が多かった。

病型別では、男性は早期顕症梅毒(I期)85例(31.1%)、早期顕症梅毒(II期)82例(30.0%)、無症候(無症状病原体保有者)80例(29.3%)、晩期顕症梅毒22例(8.1%)、先天梅毒4例(1.5%)で、女性は早期顕症梅毒(II期)60例(42.3%)、無症候(無症状病原体保有者)54例(38.0%)、早期顕症梅毒(I期)16例(11.3%)、晩期顕症梅毒8例(5.6%)、先天梅毒4例(2.8%)であった(図3、図4)。

症状等として報告された届出を病型別に表に示す。

感染原因・感染経路として推定または確定されたのは、男性は性的接触(性交)157例(57.5%)、性的接触(異性間)131例(48.0%)、性的接触(同性間)52例(19.0%)、性的接触(不明)40例(14.7%)が多く、女性は性的接触(異性間)102例(71.8%)、性的接触(性交)88例(62.0%)、性的接触(経口)16例(11.3%)が多かった(複数報告あり)。